

第32回「日本で最も早く初日の出が見られる場所」

航空気象群ホームページ「気象の杜」をご覧頂き、誠にありがとうございます。

2024年も12月に入り、残りあと少しとなりました。気象の杜をご愛読の皆さん、そして今回初めてご覧になられた方も、慌ただしく日々を過ごしているのではないのでしょうか。引き続き、本コラムを通じて気象に興味・関心を持っていただければ幸いです。

さて、今回のコラムは、2025年を迎えるにあたり「日本で最も早く初日の出が見られる場所」についてお話したいと思います。皆さんは日本で最も早く初日の出を見ることが出来る場所をご存じでしょうか。これは、「日本で」という範囲をどう定義するかによって大きく異なるので、定義を明確にし、以下の表にまとめました。

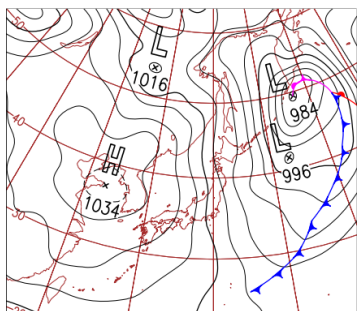
定義	場所	初日の出の時刻
日本の国土	南鳥島	5時27分
人が定住している場所	母島 (小笠原諸島)	6時20分
島を除いた北海道～九州	富士山山頂	6時42分
山を除いた北海道～九州の平地	千葉県犬吠埼	6時46分
国立天文台（NAOJ）掲載資料により作成		

※ 表中の日の出時刻は2012年の値ですが、年による違いはほとんどありません。

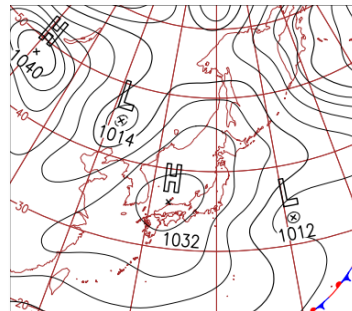


初日の出のために離島へ行ったり、冬の富士登山をしたりすることはなかなか難しいと思います。そのため、多くの方にとっては、千葉県の犬吠埼（いぬぼうさき）が現実的に最も早く初日の出を見ることができる場所になると言えるでしょう。

せっかく初日の出を見に行っても、曇っていて見られなかったら残念ですね。初日の出を見るためには雲の少ない晴れた日というのが条件になります。元旦の予定を立てるのにあたり、役に立つのが地上天気図の予想図です。以下の天気図のような気圧配置だと、犬吠埼から初日の出を見られる可能性が高いと言えます。



西高東低・冬型の気圧配置
日本海側は曇りや雪、太平洋側は晴れのところが多い。



日本付近が移動性高気圧に
覆われ、本州は概ね晴れ。

（気象庁各種データ・資料より引用）

近年では、スマートフォンでも気象に関連した様々なアプリや関連サイトから気象情報を入手することができ、地上天気図の予想気圧配置を1週間先まで確認できるサイトも多くあります。2025年の初日の出を是非見たいという方は、上記の地上天気図を参考にしてみてください。（なお、2025年1月の気象コラムでは、地上天気図の見かたについてもう少し詳しくご紹介する予定です。）

最後に、気象の杜をご覧の皆様にとって2025年が良き年となりますことを航空気象群一同祈念しております。